

平成27年9月期 第3四半期決算説明会

テーマ：次の10年の成長加速に向け経営基盤を強化

2015年7月30日

GMOペイメントゲートウェイ株式会社
(東証一部 3769)

第42回

GMO PAYMENT GATEWAY

<http://corp.gmo-pg.com/>

当資料取扱上のご注意

本資料に記載された内容は、2015年7月30日現在において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢並びに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

アジェンダ

1. サマリー
2. 成長戦略の進捗
3. 財務ハイライト
4. 2015年9月期の業績予想

1.サマリー

1.1 ハイライト・ローライト

最近の 이슈に関する当社グループのポジション

■ 三井住友銀行との業務提携と第三者割当増資

- ・ 両社出資により決済代行JV設立、これまでリーチできなかった顧客層に当社サービスを提供し業界の圧倒的No.1に
- ・ 当社のマネーサービスビジネス（MSB）拡大に向けた資本増強（約80億円調達）

■ GMOインターネット、あおぞら銀行と共同でネット銀行設立の検討開始

- ・ 二社の金融サービスにおける取り組みにおいて当社が関わっていくことも今後検討
- ・ 「当社=SMBC」提携と明確に棲み分けは完了

■ FinTech領域に各種企業が参戦

- ・ 先行する欧米に続き、日本でも大企業からベンチャーまで多数の企業がサービス開始
- ・ 当社グループだからできるサービスを続々投入し、真のFinTechを体現

■ 決済関連企業の上場・増資（国内外・大～小規模）

- ・ 規模や戦略性の違いを踏まえた本質的な対応をしており影響は軽微

1.2 FinTech

当社グループのFinTechの取り組み

FinTechが拡大する要因

【外的】

- ・コンピューティングリソースの大幅な価格性能比向上
- ・テクノロジーの進化（AI）
- ・新規IT企業の参入
- ・地域創生
- ・データの爆発的な増大
- ・スマートフォンの普及

【内的】

- ・データ量が整う
- ・顧客バリエーション（規模・業種）が多岐に渡り豊富
- ・人的リソースの確保



ITと金融の統合



<FinTechがもたらす変化>

- ・クレジットリスクの低減
- ・貸出手数料の低下
- ・送金手数料の低下
- ・BSの健全性向上

<当社グループが提供するFinTech関連サービス>

- ・後払い
- ・簡易決済
- ・スマホ決済（ジャック式・アプリ）
- ・早期入金サービス
- ・送金サービス
- ・トランザクションレンディング
- ・トークン決済
- ・mPOS（レジ）
- ・Bitcoin

※ : MSB（マネーサービスビジネス）
トランザクションレンディング・早期入金サービス・後払い・送金サービス・その他からなる事業の総称

1.3 業績サマリー

好調持続、前3Q累計比20%超の増収増益、純利益進捗率80.9%

決算概要（連結）

■売上高：	6,427百万円	（前3Q累計比+21.0% / 進捗率74.3%）
■営業利益：	2,300百万円	（前3Q累計比+20.1% / 進捗率77.3%）
■経常利益：	2,317百万円	（前3Q累計比+20.2% / 進捗率77.7%）
■当期純利益：	1,454百万円	（前3Q累計比+29.1% / 進捗率80.9%）

事業進捗

- 決済代行サービス好調
- 当社グループ会社等の業績好調
- 新サービスを相次ぎリリース
 - 4/01 「zei.tokyo」運用開始
 - 4/15 「トークン決済サービス」提供開始
 - 4/28 「GMO-PG送金サービス」本格展開
 - 5/01 「多通貨クレジットカード決済サービス」提供開始
 - 5/21 集客支援サービスにおける「インバウンドマーケティング」提供開始

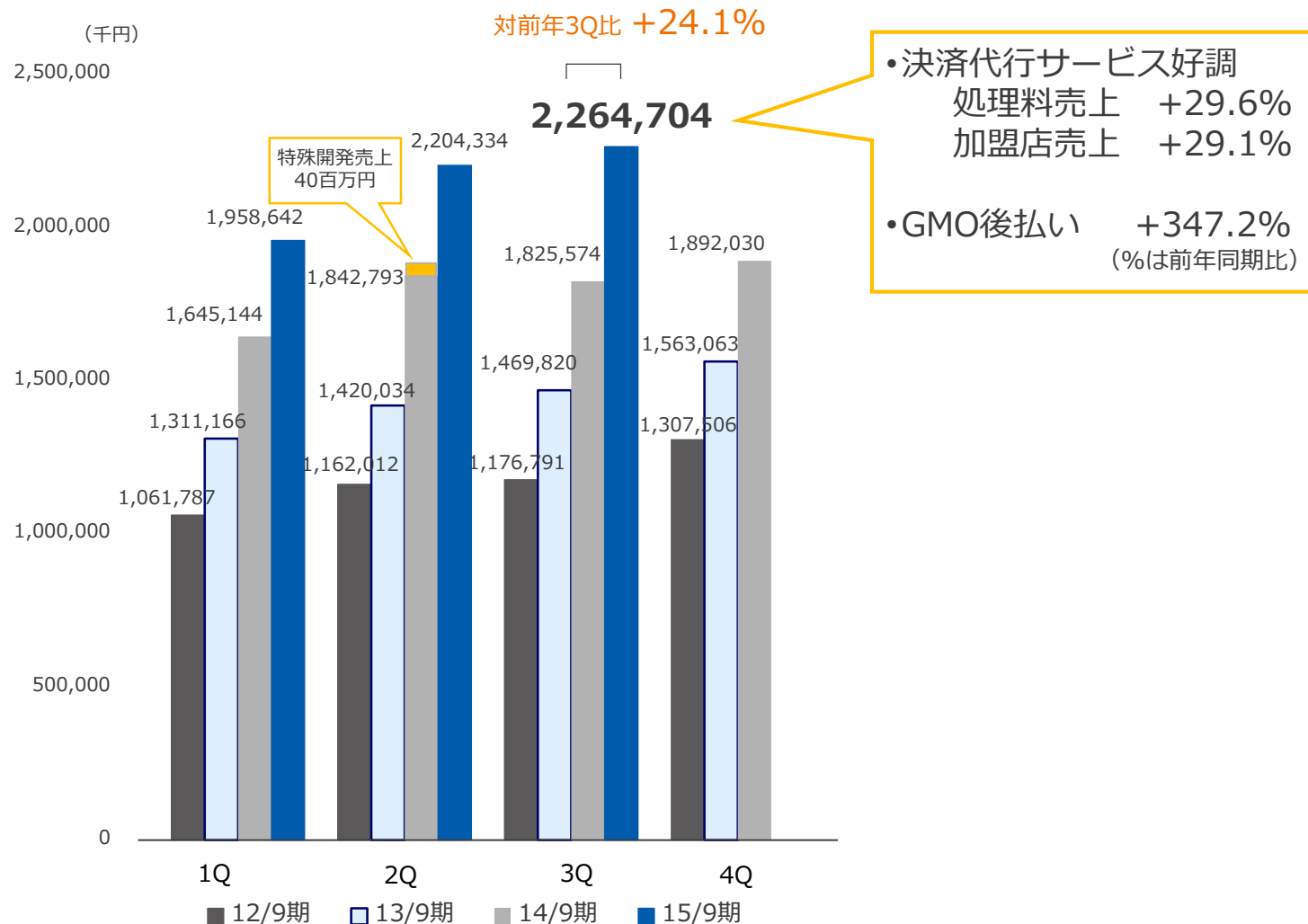
通期見通し

- 売上高： 8,656百万円 （前年度比+20.1%）
 - 営業利益： 2,974百万円 （前年度比+20.1%）
- 業績好調の継続を想定するも、事業機会の増大に伴い投資フェーズは更に続くため、通期見通し、配当予想ともに変更なし

1.4 連結売上高 前3Q（4-6月）比

決済代行サービス、当社グループ会社ともに好調、前3Q比+24.1%

■売上高

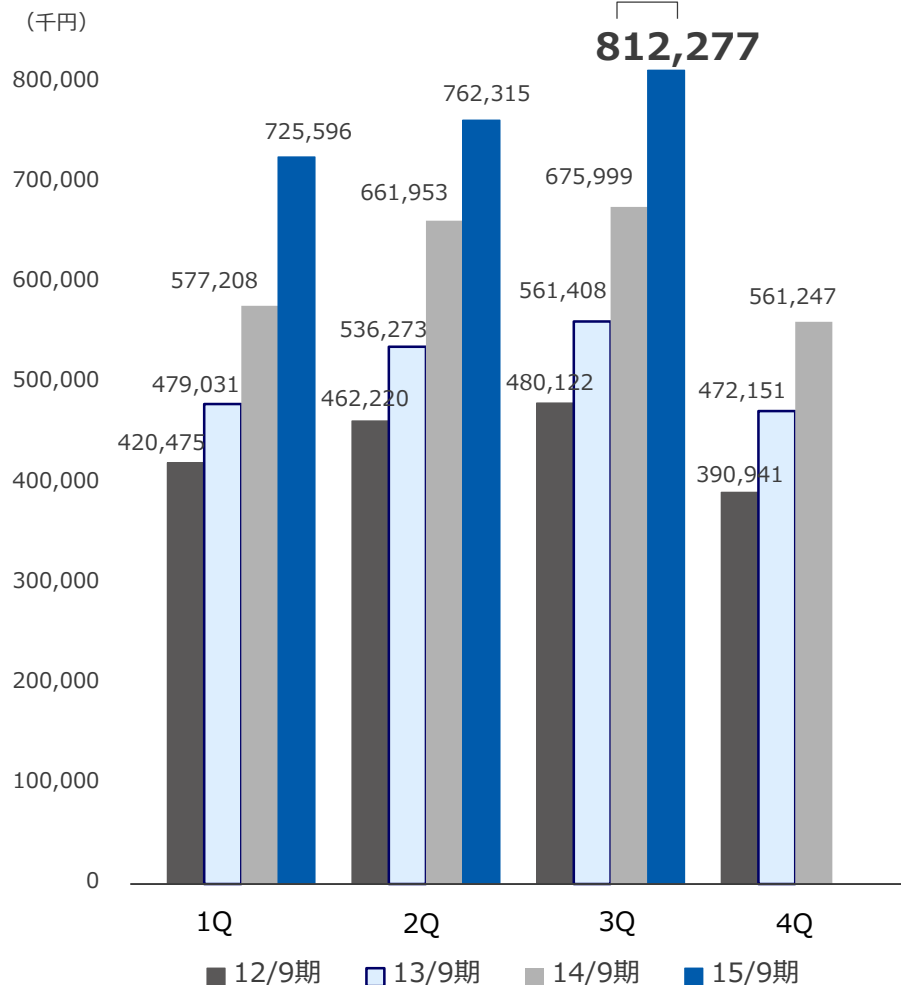


1.5 連結営業利益・連結経常利益 前3Q（4-6月）比

営業利益は前3Q比+20.2%、経常利益は株式交付費を除き同+21.5%

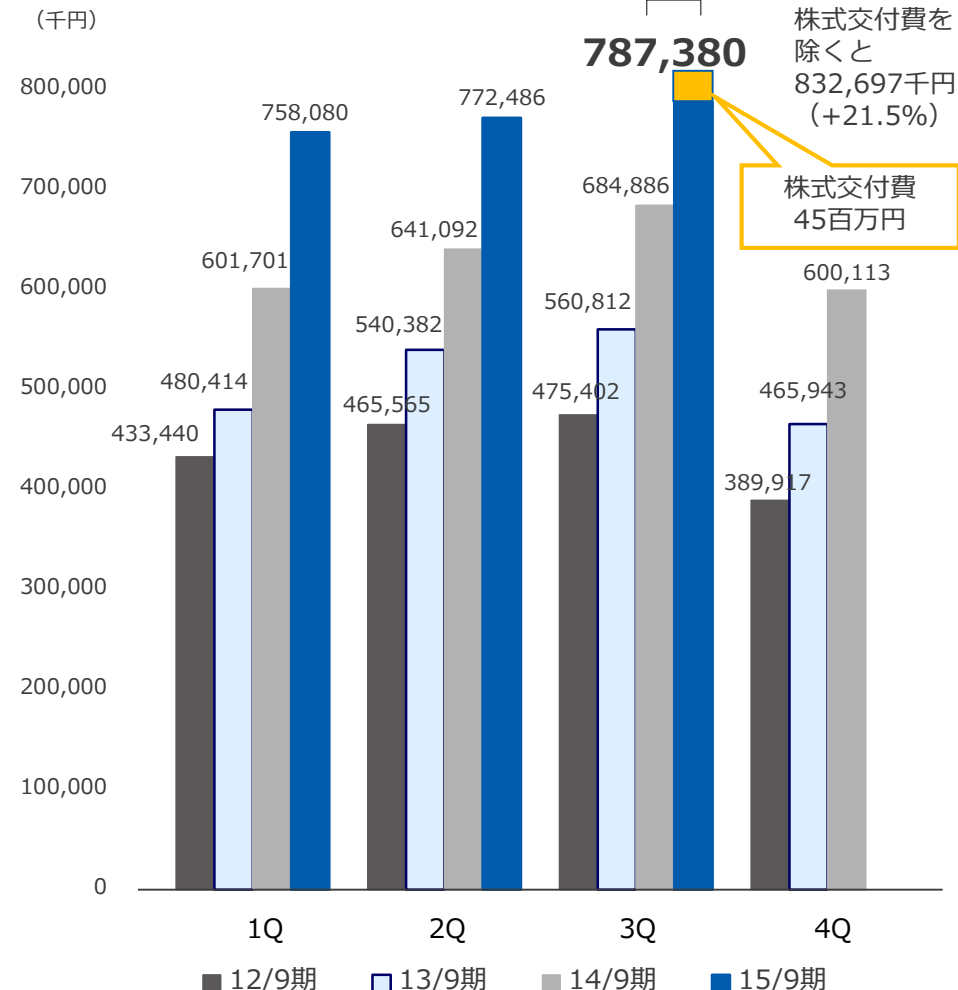
■ 営業利益

対前年3Q比 +20.2%



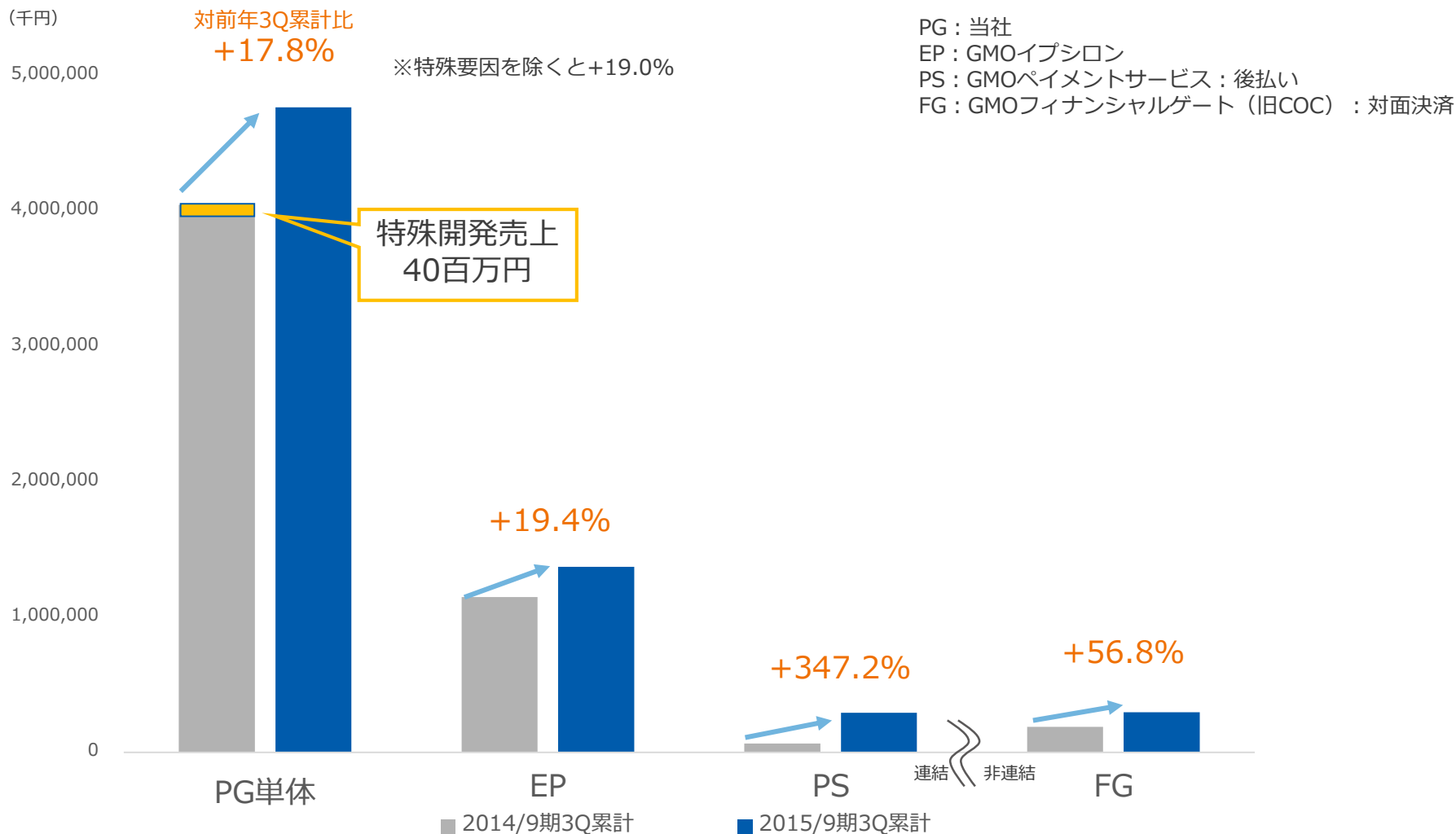
■ 経常利益

対前年3Q比 +15.0%



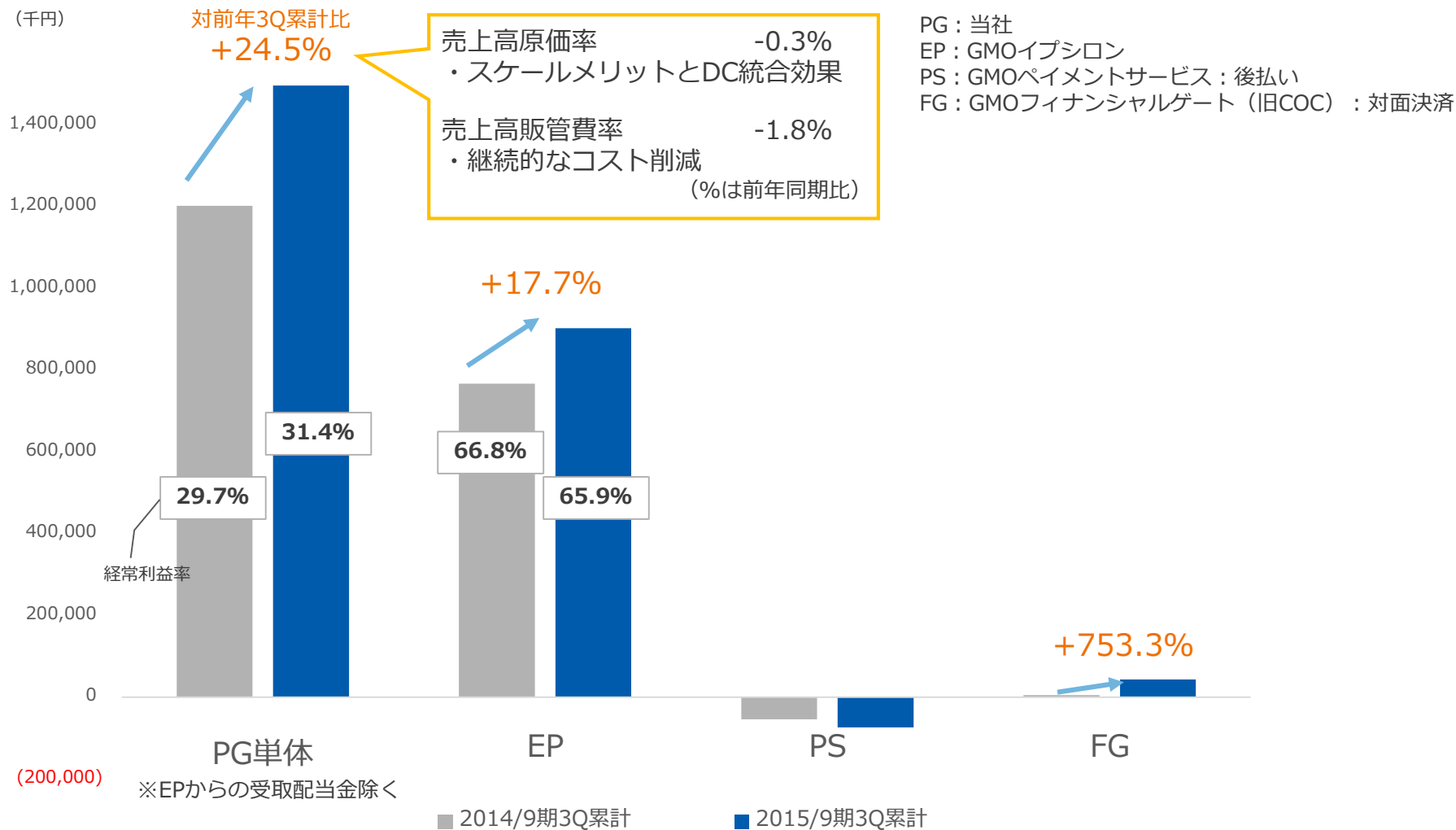
1.6.1 売上高推移 (PG単体・EP・PS・FG)

各社業績好調、GMOペイメントサービス (PS) が連結増収をドライブ



1.6.2 経常利益推移 (PG単体・EP・PS・FG)

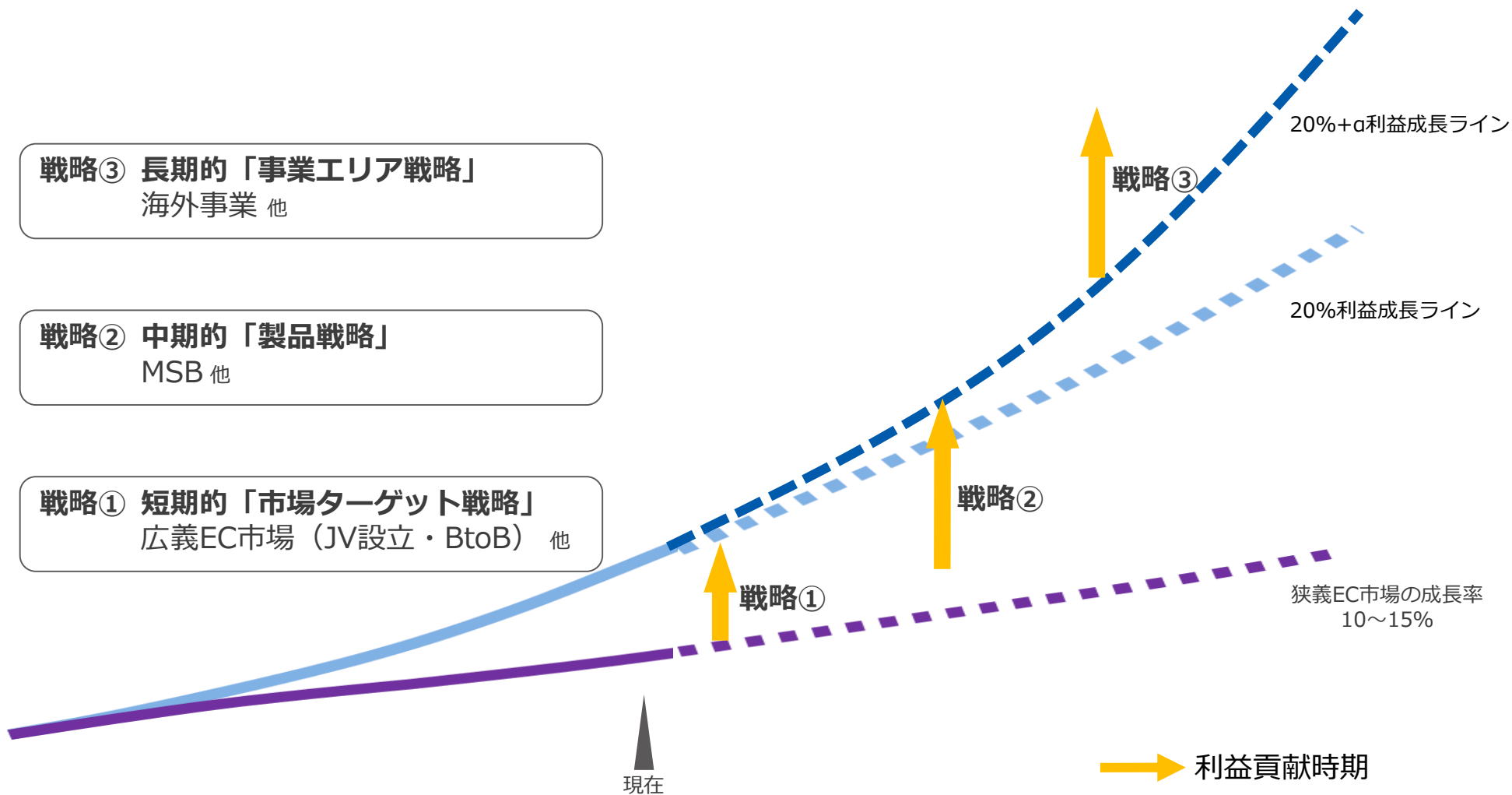
PG利益による新規事業 (グループ会社等) への投資が徐々に成果を生む



2.成長戦略の進捗

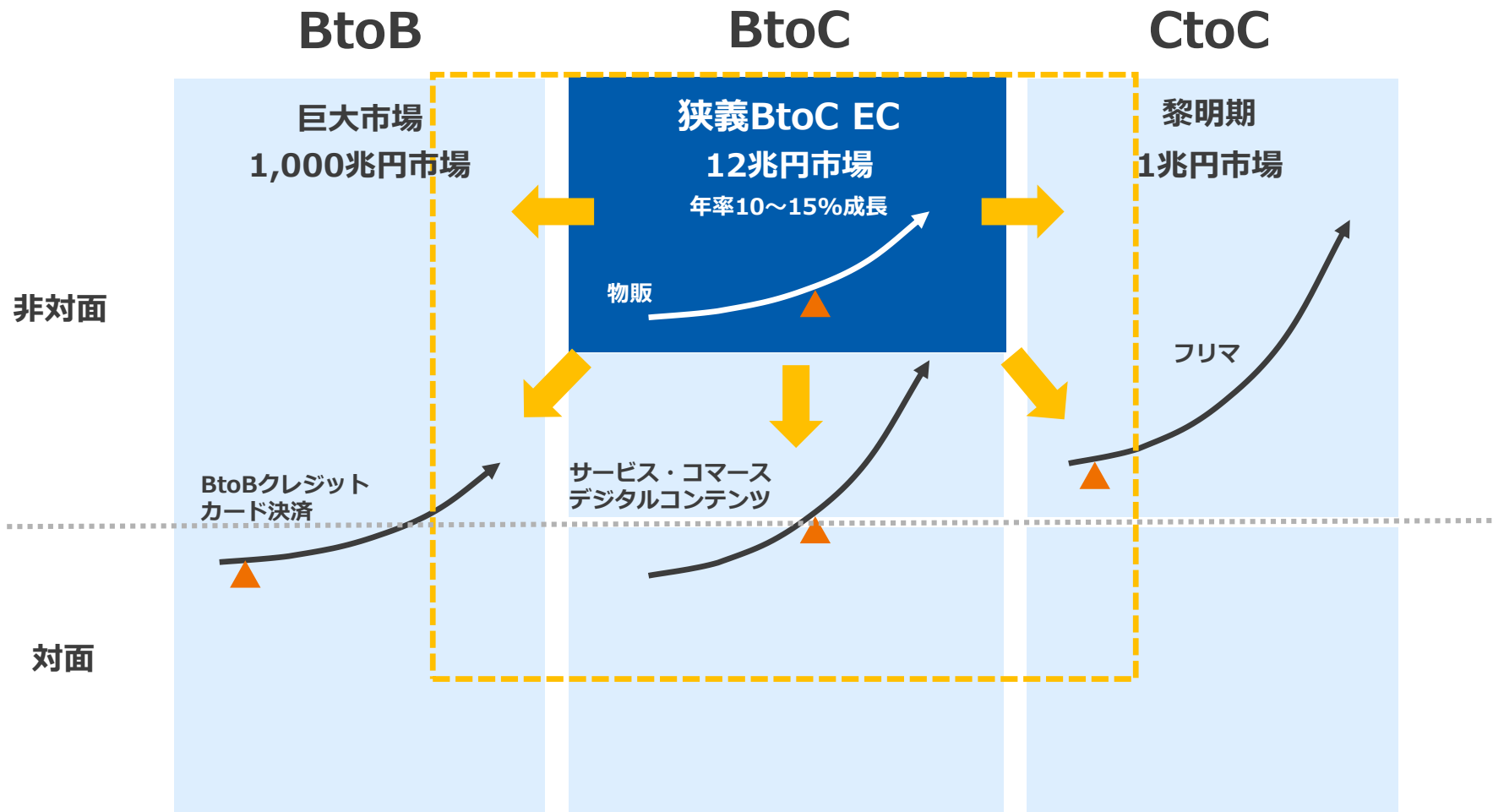
2.1 目標とする成長ラインと戦略

資本増強により成長性を加速させ「20%+ α 」の利益成長を目指す



2.2.1 戦略①市場ターゲット戦略：広義EC市場

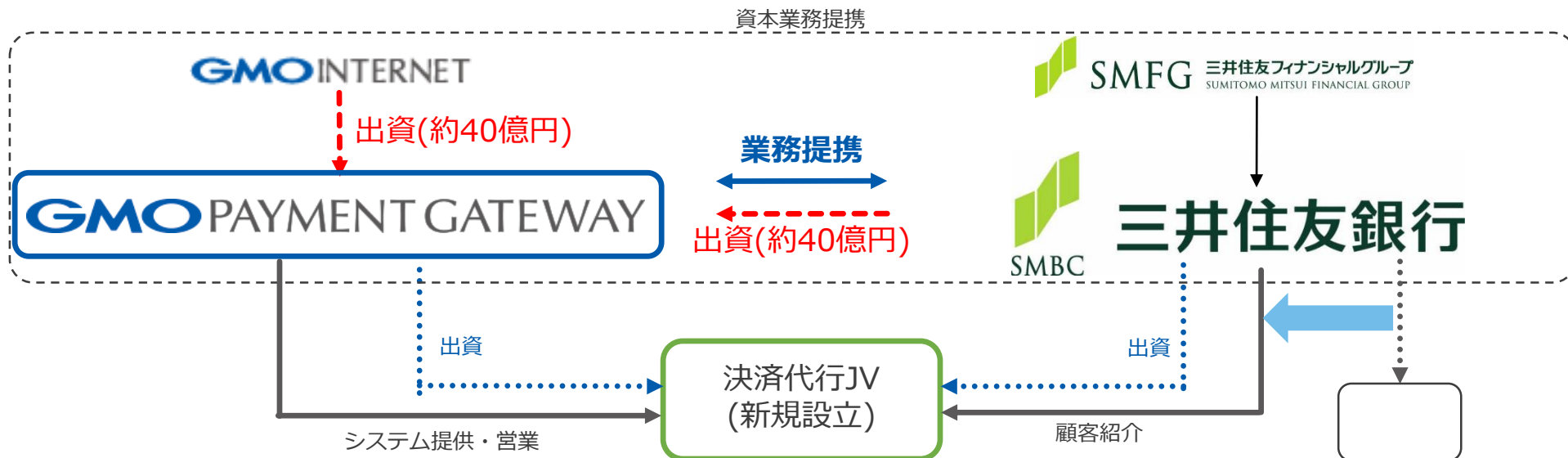
日本における消費のEC化が当社の成長加速に貢献



※経済産業省「平成26年度電子商取引に関する市場調査」

2.2.2 戦略①市場ターゲット戦略：JV設立

SMBCと設立する決済代行JVの加盟店に当社決済サービスを提供



【目的】

決済代行JV設立（日本をリードする圧倒的No.1へ）

【BS・PL影響】

(当期)

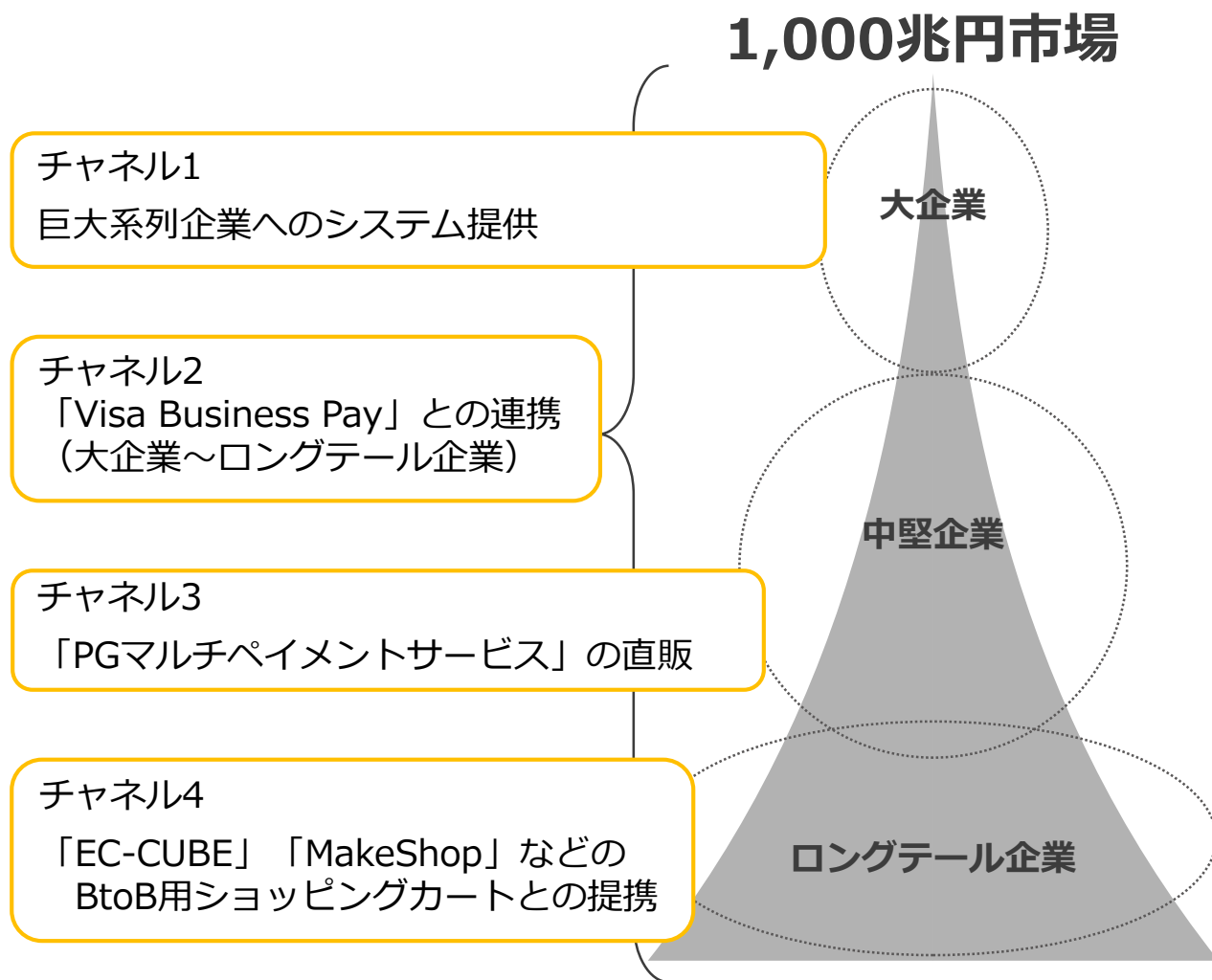
BS	資本金の増加	約4,000百万円増	(増資後の資本金は4,710百万円)
PL	株式交付費	45百万円	(営業外費用)

(来期以降)

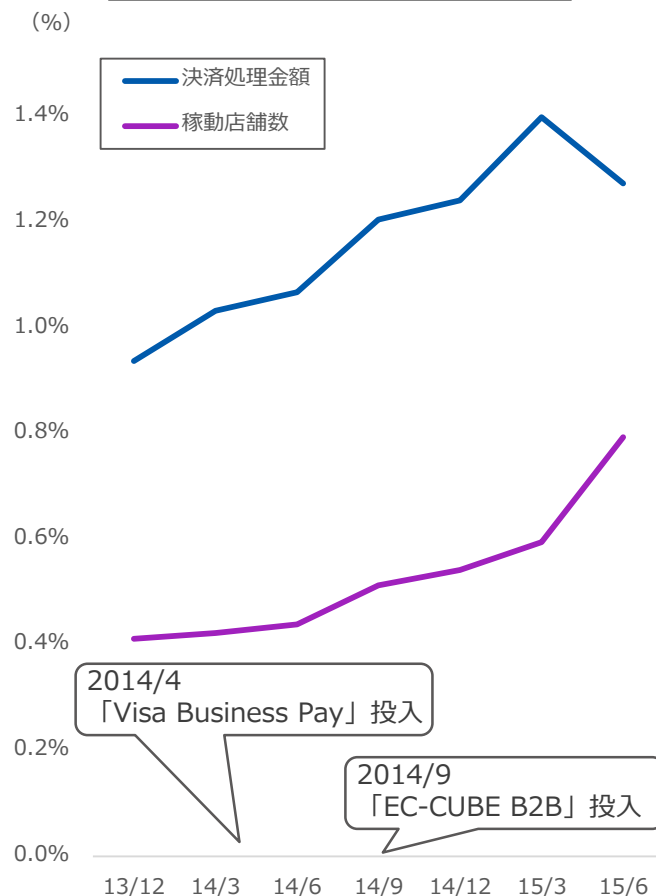
BS	JV出資
PL	JV損益の取り込み

2.2.3 戦略①市場ターゲット戦略：BtoB市場

4つのチャンネルでクレジットカード化を推進



当社グループ全体に占めるBtoB比率の推移



※決済処理金額はQ累計値、ショップ数はQ末数値

2.3.1 戦略②製品戦略：MSB（段階的な事業展開）

サービスの変化とレンディングビジネスへの変遷



2.3.2 戦略②製品戦略：MSB（代表加盟契約モデル）

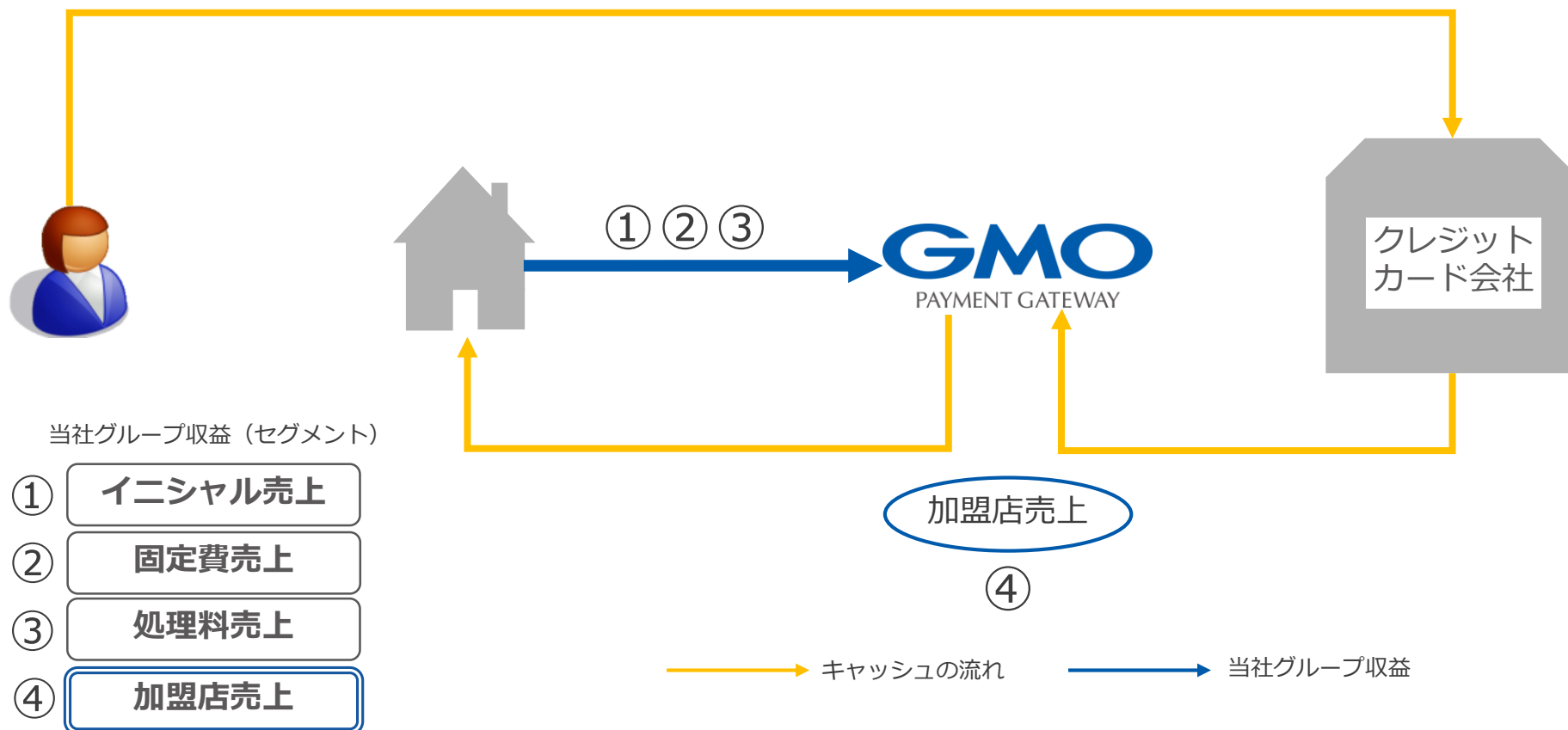
代表加盟契約モデルのマネーフローが金融ビジネスへ展開を実現

消費者

事業者（加盟店）

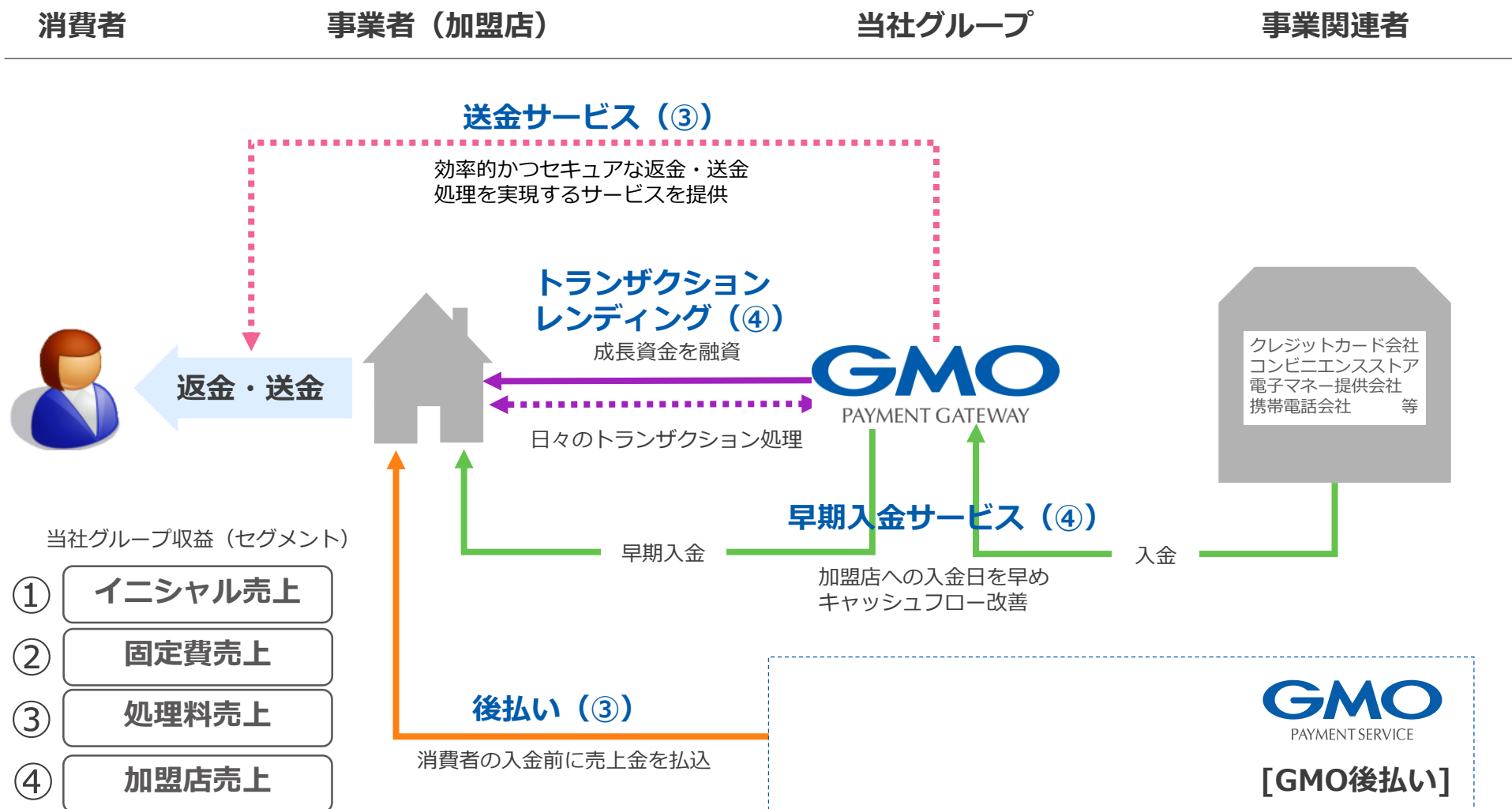
当社グループ

事業関連者



2.3.3 戦略②製品戦略：MSB（定義）

決済代行業だからできるサービス



2.3.4 戦略②製品戦略：MSB（早期入金サービスの拡充）

ニーズに応える入金サイクルを提供し加盟店のキャッシュフロー改善

クレジットカード決済	コンビニ決済	ペイジー決済	電子マネー決済	etc...		
多様な決済手段に適用できます!!						
カスタマイズできる入金サイクル						
締め回数	<input type="checkbox"/> 1回	<input checked="" type="checkbox"/> 2回	<input type="checkbox"/> 3回	<input type="checkbox"/> 6回	<input type="checkbox"/> 毎日	
締め日	<input type="checkbox"/> 5日	<input checked="" type="checkbox"/> 10日	<input type="checkbox"/> 15日	<input type="checkbox"/> 20日	<input checked="" type="checkbox"/> 25日	<input type="checkbox"/> 末日
入金までの期日	<input checked="" type="checkbox"/> 締め日の2営業日後		<input type="checkbox"/> 15日後	<input type="checkbox"/> 30日後		

各種決済手段において
『締め回数・締め日・入金までの期日』を
それぞれ所定の回数・日から選択可能



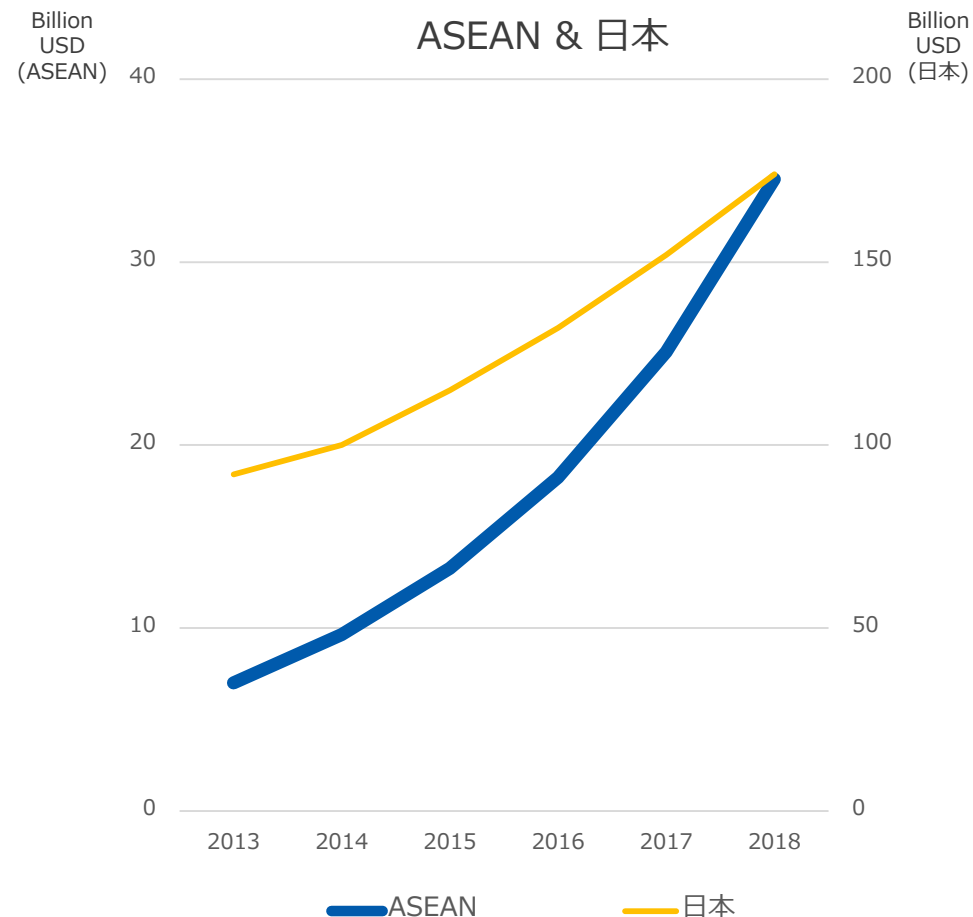
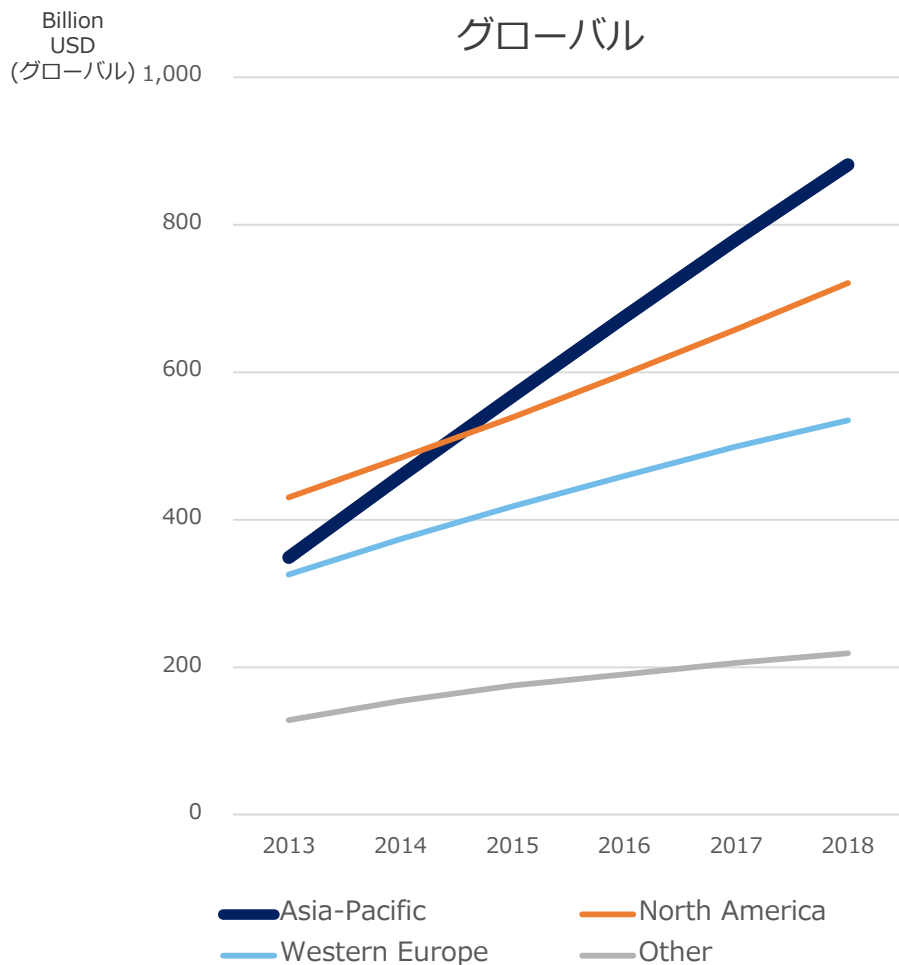
加盟店は自社の資金繰りに最適な入金サイクルを設定



業界最短となる「2営業日後」の売上金入金も選択可能に

2.4.1 戦略③事業エリア戦略：急拡大する海外市場

世界で最も成長性の高いASEAN市場をターゲット

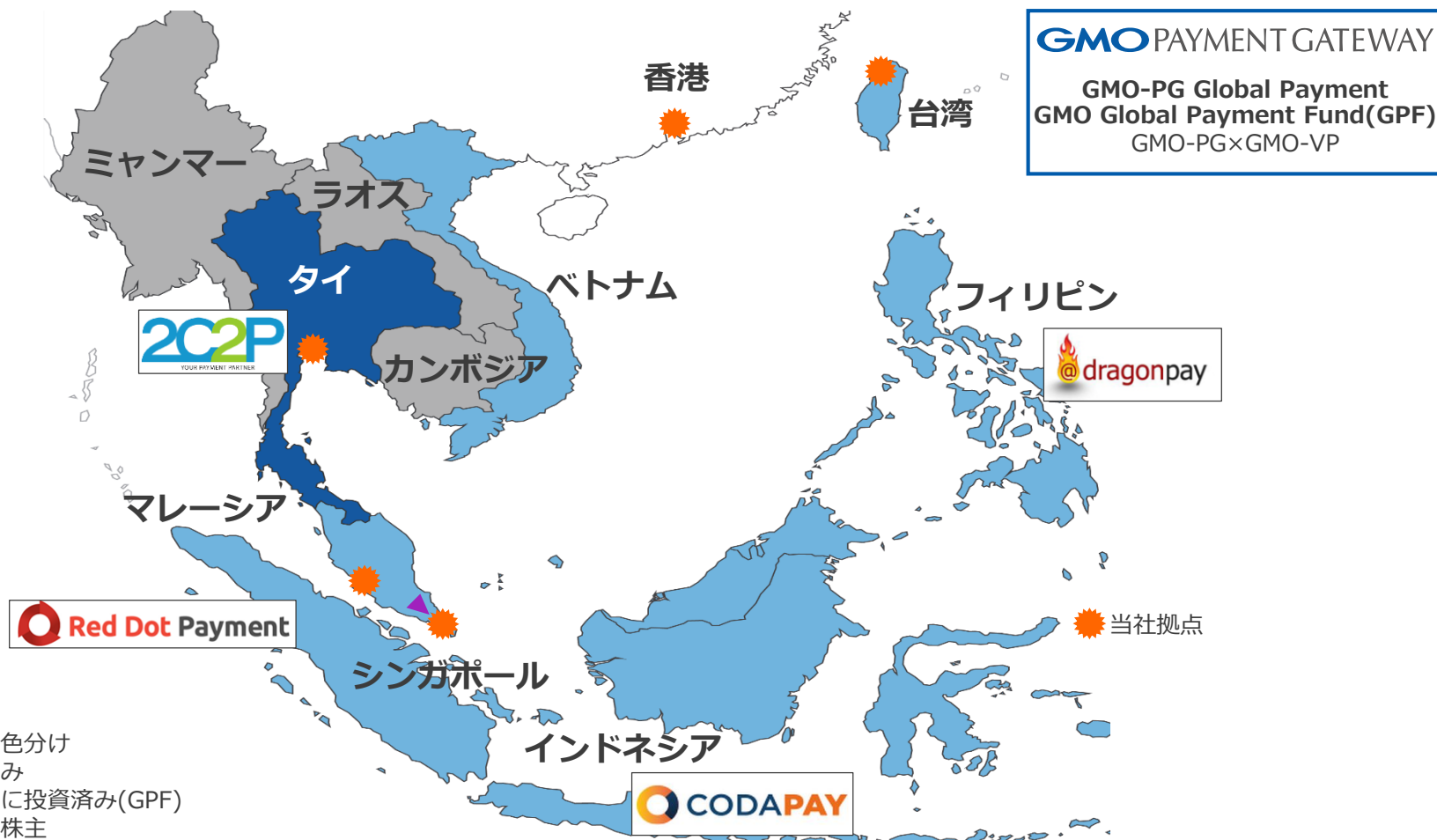


※米国「emarketer (2014)」

※フロスト&サリバン「東南アジアのeコマース市場（電子商取引）に関する分析」より（2014年7月4日）

2.4.2 戦略③事業エリア戦略：東南アジア諸国での布石

国別の戦略進捗状況



- 以下の条件により色分け
- ①サービス開始済み
 - ②主要プレーヤーに投資済み(GPF)
 - ③当社が外部筆頭株主

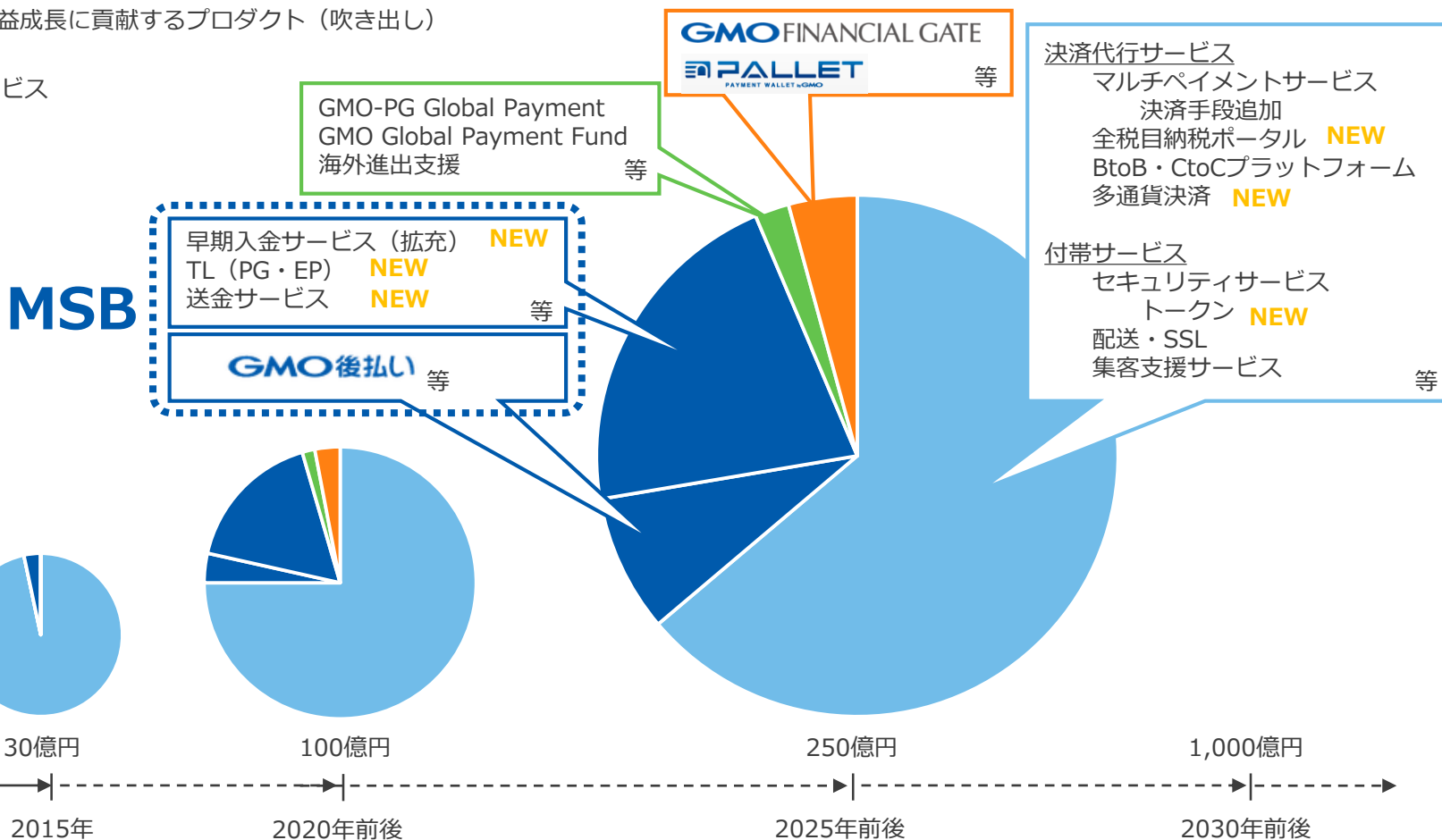
■ ①②③全て実行済み、 ■ うち2つを実行済み、 ■ うち1つを実行済み、 ■ 投資先パートナー企業がカバー

2.5 利益ポートフォリオ（イメージ）

2020年度前後の経常利益目標100億円を通過点として成長

当社グループ事業及び利益成長に貢献するプロダクト（吹き出し）

- 決済代行及び付帯サービス
- MSB
- 海外
- 対面・その他



※経常利益：2005年度は実績値、2015年度は予想値、以降は経営目標
 MSB：マネーサービスビジネス（トランザクションレンディング・早期入金サービス・後払い・送金サービス・その他からなる事業の総称）
NEW：2015/9期の成果

3. 財務ハイライト

3.1 連結業績サマリー

売上、利益ともに20%成長、売上高営業利益率0.3ポイント上昇

(百万円)	15年9月期3Q		前期比		14年9月期3Q		15年9月期予想	
	実績	構成比 (%)	増減額	前期比 (%)	実績	構成比 (%)	通期	進捗率 (%)
売上高	6,427	100.0	1,114	+21.0	5,313	100.0	8,656	74.3
売上原価	1,366	21.3	298	+27.9	1,067	20.1	-	-
売上総利益	5,061	78.7	816	+19.2	4,245	79.9	-	-
販売費及び 一般管理費	2,761	43.0	431	+18.5	2,330	43.9	-	-
営業利益	2,300	35.8	385	+20.1	1,915	36.0	2,974	77.3
経常利益	2,317	36.1	390	+20.2	1,927	36.3	2,985	77.7
純利益	1,454	22.6	327	+29.1	1,126	21.2	1,797	80.9
一株当たり 純利益 (円)	42円04銭	-	9円38銭	-	32円66銭	-	51円00銭	-

※2014/10/1付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。2014/9期3Qの一株当たり純利益は、当該株式分割が行われたと仮定し算定しております。

3.2 連結貸借対照表

第三者割当増資により資本金40億円増

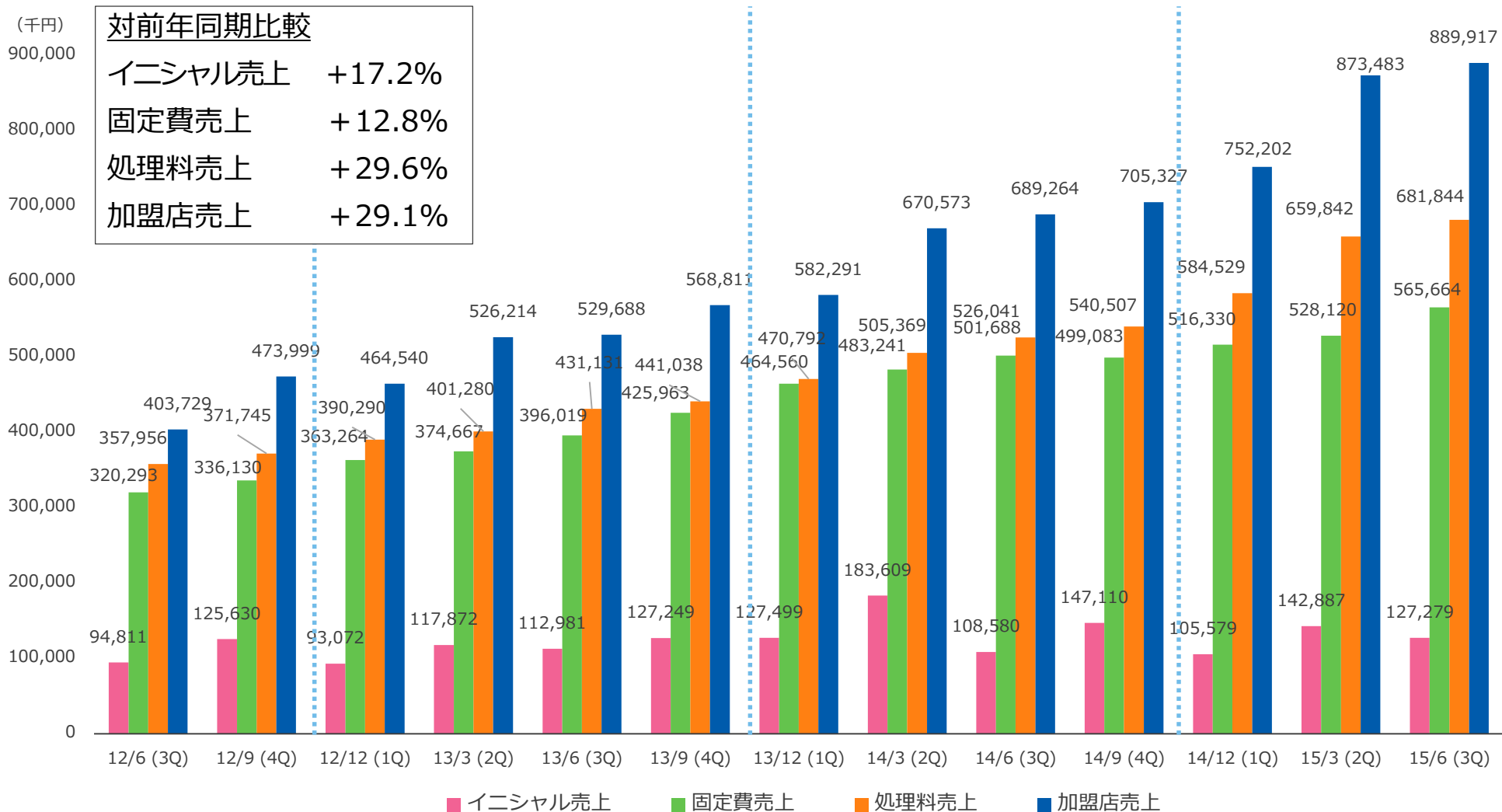
(百万円)	15年9月期 3Q末実績	14年9月期 3Q末実績	増減		(百万円)	15年9月期 3Q末実績	14年9月期 3Q末実績	増減
流動資産	39,868	22,967	16,900		流動負債	26,895	18,346	8,549
現金及び預金	34,934	21,029	13,905		預り金	24,243	16,982	7,260
前渡金	1,567	619	947	早期入金サービス拡大				
未収入金	998	504	494	GMO後払い増加				
貸倒引当金	△159	△34	△125		未払金	1,763	515	1,248
その他の流動資産	2,527	1,001	1,525		その他の流動負債	888	849	39
固定資産	3,030	1,932	1,098		固定負債	179	174	5
有形固定資産	218	249	△31		株主資本	15,668	6,338	9,329
無形固定資産	861	761	99		資本金	4,710	708	4,002
うちソフトウェア	664	616	47		その他の包括利益 累計額	153	33	119
投資その他の資産	1,951	921	1,030		純資産合計	15,823	6,378	9,445
資産合計	42,898	24,899	17,999	投資有価証券及びその他の関係会社有価証券の増加	負債・純資産合計	42,898	24,899	17,999

代表加盟サービスによる加盟店の預り金
※加盟店の締め日・支払サイクルの変化により
加盟店売上の増加ペースと乖離が発生

第三者割当増資

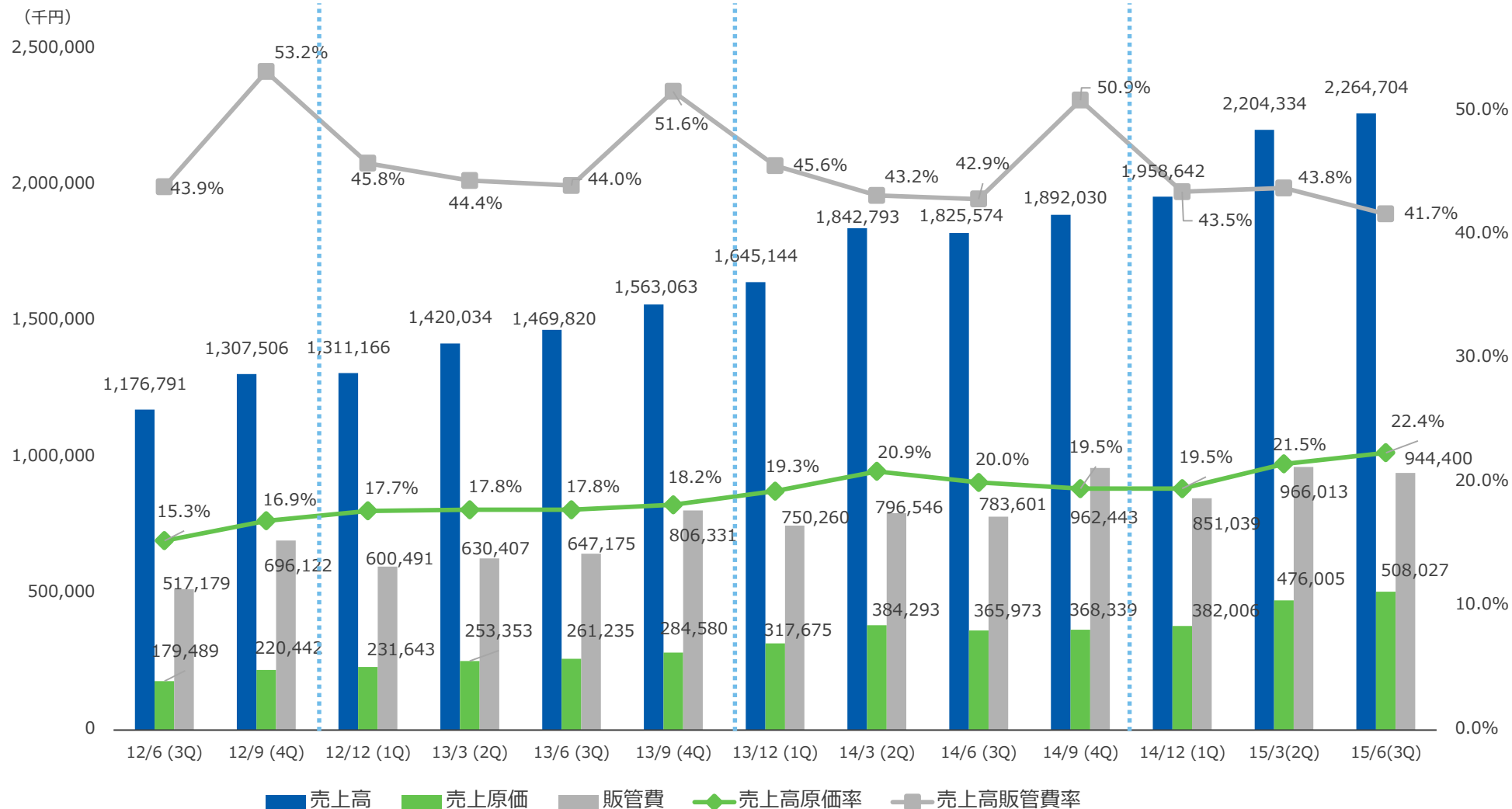
3.3 セグメント別売上（四半期推移）

処理料売上及び加盟店売上が好調、イニシャル売上も17.2%増



3.4 売上高原価率・販管費率（四半期推移）

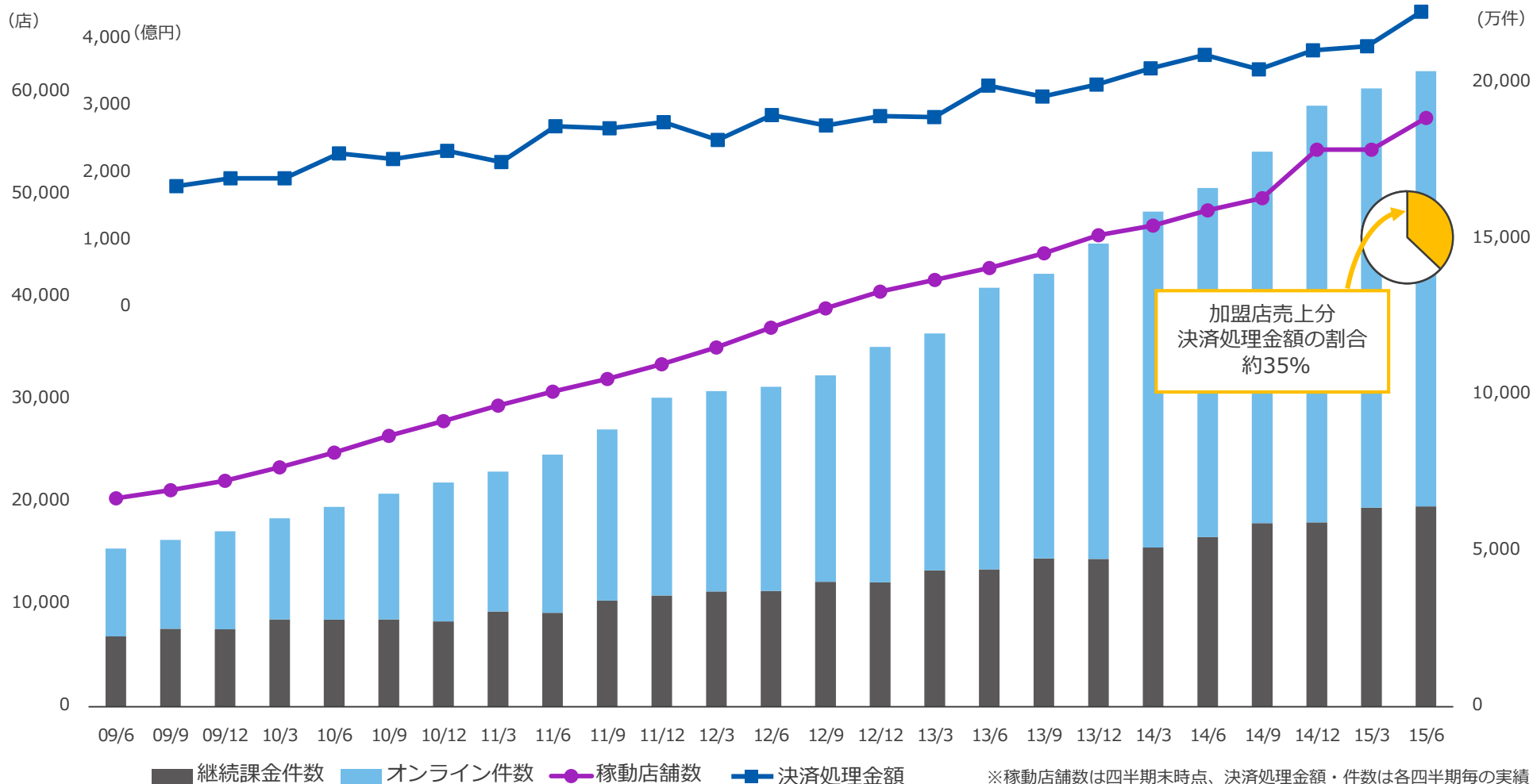
セールスミックスにより原価率は上昇も、各種経営施策で高収益性を持続



3.5 主要KPI推移 (四半期推移)

主要KPIは順調に拡大、加盟店売上分の決済処理金額が約35%に

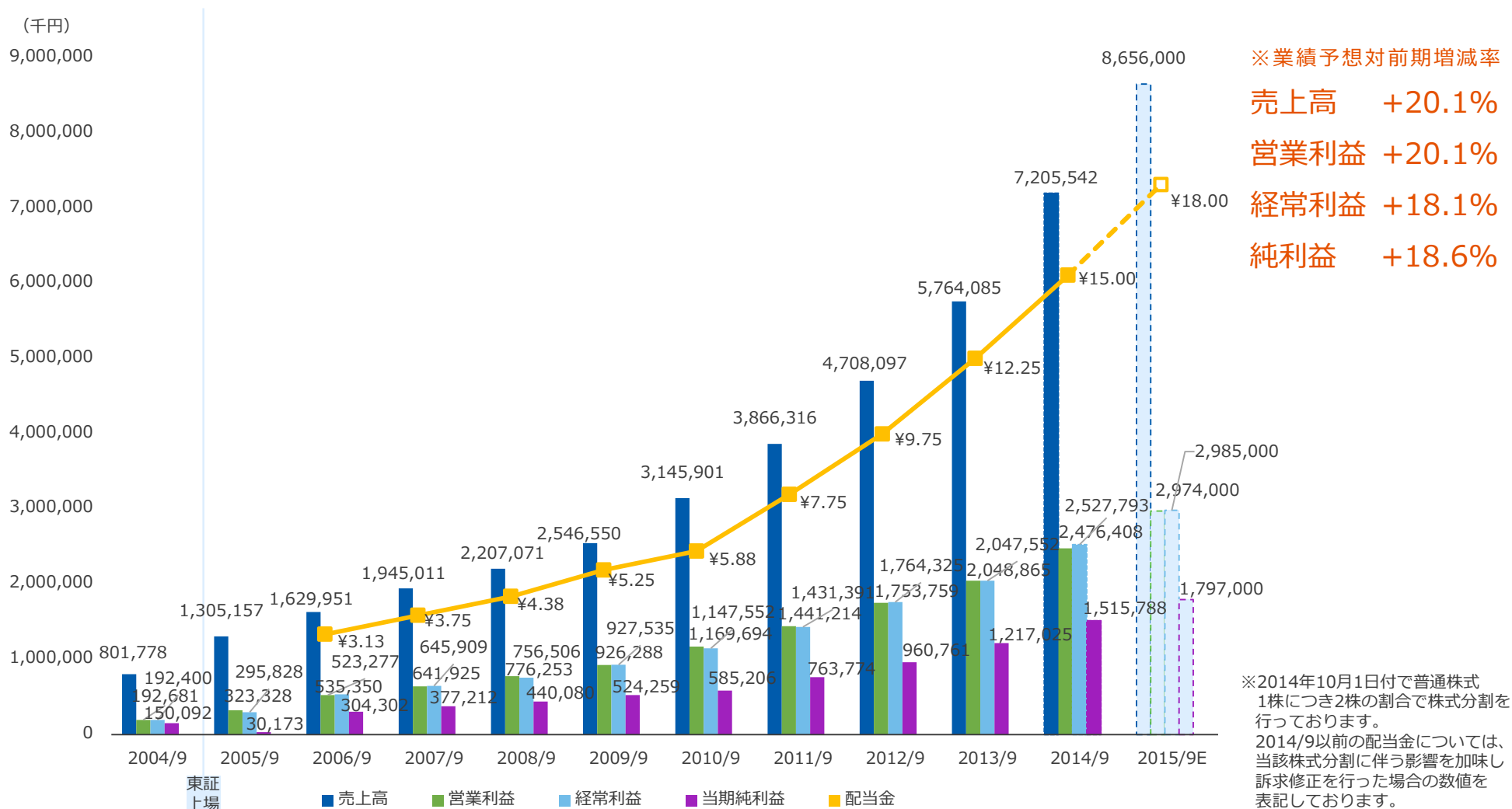
稼働店舗数 57,569店、決済処理金額 約4,400億円、決済処理件数 約2億400万件



4. 2015年9月期の業績予想

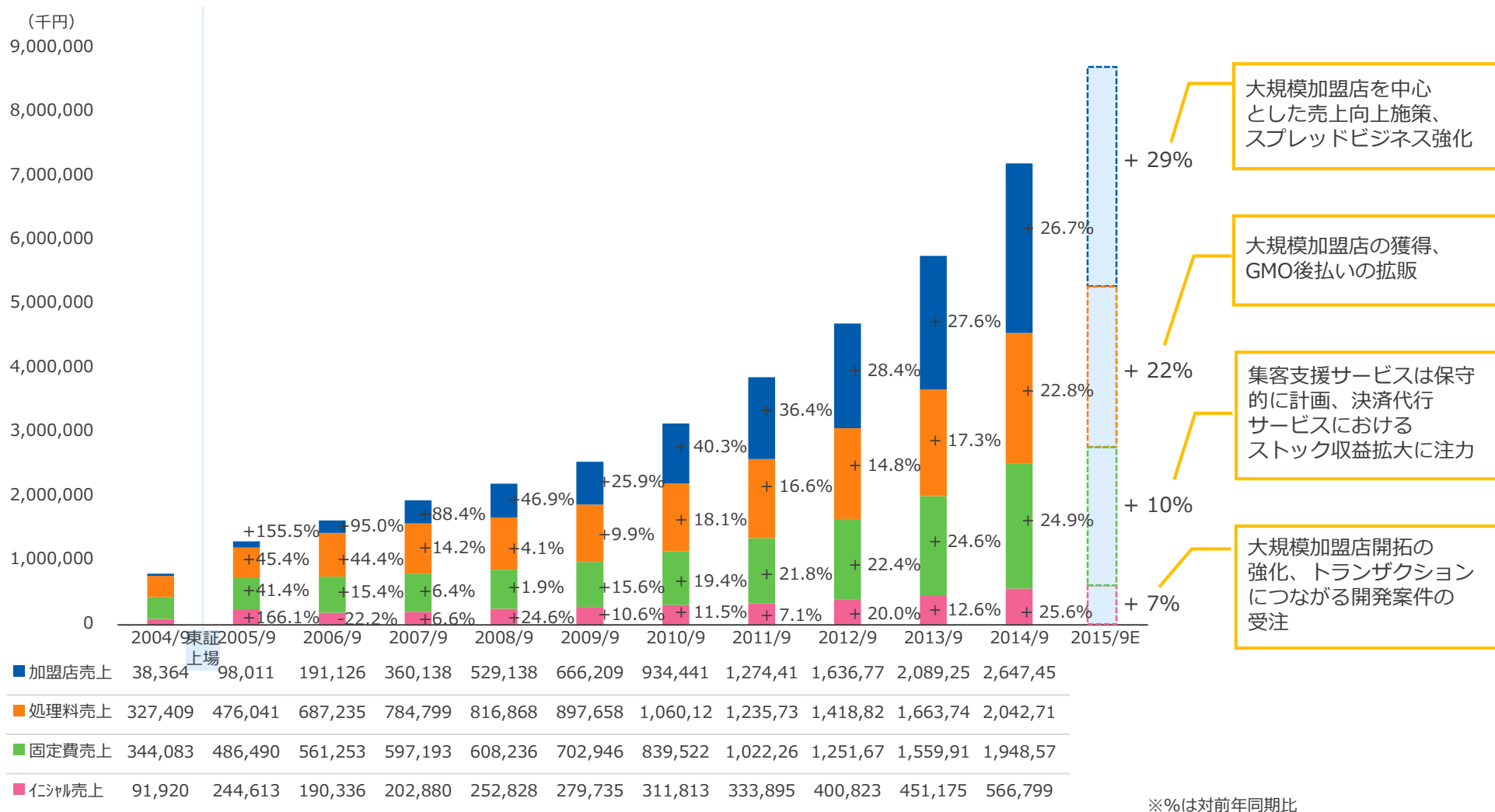
4.1 連結業績推移サマリー（2015/9期予想）

投資フェーズが続くため業績予想を据え置き、配当も18円予想を維持



4.2 セグメント別売上（2015/9期予想）

各種施策によりバランスの取れた売上成長を目指す



ありがとうございました

GMO PAYMENT GATEWAY

GMOペイメントゲートウェイ株式会社
(東証一部 3769)

IRサイトURL <http://corp.gmo-pg.com/>

お問合せ・個別取材のお申込みは、企業価値創造戦略統括本部 IR・広報グループまでご連絡ください。

IR・広報グループ TEL:03-3464-0182